

香川県立多度津高等学校 100周年記念行事

**あすまや建設プロジェクト**

(令和2年：秋号) 着工前研修①

**協力企業さんに感謝**

2学期に入り、見学会等はしていますが、現場の進捗状況は0%です。少し焦り始めましたが、協力企業さんとの協力で現場の見学会などが実施できました。ようやく始まったかな、といった感じです。各現場での活動が今後の進路に大きく影響することは間違いなく、生徒にとって大きなプラスです。特に今年度はインターンシップが中止になったため本当に良い経験になりました。

**多度津町との連携**

今回の建設地は多度津町の所有地になります。新県道が開通することで池を埋め立て、一部が新公園として利用することになります。新公園は防災公園としての機能を備え、私たちは休憩の場として東屋を建設する許可を得ました。多度津町と多度津高校が「包括的連携・協力に関する協定」を結んだことによる成果と言えます。右の写真は9月19日の様子です。ほぼ敷地の造成が終了したことが伺えます。

**これまでの取り組み****【新築木造住宅 現場見学】 協力：(株)山倉建設**

9月25日(金)に(株)山倉建設さんの新築木造現場2カ所の見学をしました。どちらも特徴ある構法で、それぞれの大工さんが丁寧に説明してくれました。大工に興味のある生徒は大工体験もさせて頂き、大変喜んでいました。

**生徒感想文(管理グループ)**

今回は、貴重な体験をさせていただきました。山倉建設さんの実際に建設途中の現場を見学させていただき、授業で聞いていたことを実際に見ることにより、より深く建築について学ぶことができました。また、改めて建築という分野の一つ一つの建築物の壮大さを再確認できました。自分は実際に施工途中の現場に入ったのは初めてだったので、授業より楽しく学ぶことができ、とてもうれしかったです。また、現場で働いている大工さんの話を聞かせて頂いてとても楽しかったです。

木下昌那哉

**【瓦工場・屋根工事現場見学】 協力：(株)請川窯業**

10月9日(金)に(株)請川窯業さんの瓦工場(大野原工場)を見学しました。普段目にするのではない工場作業にびっくりすることが多かったように思います。鬼瓦や燻し瓦の製作工程を知ることができました。その後、お寺の屋根工事を見学しましたが、時代とともに施工方法が変化していることを知りました。

**生徒感想文(管理グループ)**

今回、観音寺にある請川瓦の見学に行きました。瓦がどのように作られているかなど、考えたことがなかったので貴重な体験となりました。瓦は粘土を原料として作られ、機械を使って形を整えたりして作っている事を知ることができました。工場を見に行ったときに機械ではなく人の手で作られている鬼瓦などの特殊瓦事も知り、人の手で作られているのは凄いと思いました。約700度の高温で焼かれた瓦は芸術品と言えます。今回の見学で学んだことを生かし頑張っていきたいです。

荒木隼人

**【新丸亀市役所見学】 協力：(株)合田工務店**

テスト中ではありましたが、10月14日(水)に新丸亀市役所へ見学に行きました。大規模な公共工事だけに、多くの職人さんが出入りし、圧倒されました。現場監督の仕事や安全管理など、現場の重要な事を知ることができました。

**生徒感想文(管理グループ)**

僕は今回、丸亀市役所の現場見学に行かせていただきました。今回の現場見学会で私は現場監督の大変さやすごさを知りました。実際に工事現場を見させていただいたことで、就職後の自分の仕事内容や熱心に働く職人さんの姿を知ることができました。また現場に関するお話を聞き、自分が知らない知識やいろいろな工夫がされており自分の今後に役立つことを知ることができました。今回の見学会で見たこと、知ったことを今後に生かして残り少ない学校生活や就職後に生かしたいと思います。

石井太陽

**【確認申請の提出】 協力：(株)菅組**

(株)菅組さんには8月から確認申請用の図面をお願いし、多度津町や香川県中讃土木事務所との協議を重ねてきました。そして10月22日(木)に提出することができました。本当にありがとうございました。この書類が通れば、ようやく工事の着工に入ります。

## 【縄張り・遣り方】 施工グループ・管理グループ

10月16日（金）に着工前の事前作業に入りました。作業は、建物の位置を出すための「縄張り」と「遣り方」です。慎重に測量しながらの作業でしたが、教室とは違って生徒も興味津々でした。現場に出る作業のため、終始和やかな雰囲気でした。



## 【取り組み風景】

秋になって、現場見学が充実してきました。生徒も楽しそうで、表情が豊かなことが分ります。これからもがんばれそうな気がします。



## 生徒感想文（施工グループ）

私たちは、東屋の建設地に作業をしに行きました。初めて足を運び作業することになりました。敷地を測り、杭を打ち、逃げ墨を打つという流れでしたが、一つ一つの作業に様々な器具や仕方があり、全てが初めての体験だったのでとても楽しかったです。クラスの仲間たちと協力し合って作業することで、いっそう親睦が深められ、やりがいを感じることができました。まだ始まったばかりですが、作業の中で自分ができることを見つけて積極的に行動し、完成に向けてがんばりたいと思います。

白井伶門

## 【板金工場・新工場見学】 協力：(株)川上板金工業所

10月23日（金）(株)川上板金工業所さんにお世話になり、工場見学と新工場の新築現場見学を行いました。板金屋根の需要は多く、大規模な店舗など身近なところで活躍されていることを知りました。また、新工場の新築工事が行われており、間近での見学は迫力満点でした。



## 生徒感想文（管理グループ）

今回は、まんのう町にある川上板金工業所の見学に行きました。会社に到着して驚いたのは会社のすぐ横に新工場を作っていて、とても大きかったことです。川上板金工業所の中でも最も大きい規模だそうです。最初に会社概要を教えてくださいましたが、屋根の板金にもたくさんの種類があり、独自に開発した構法が多く、レベルが高い事に驚きました。社長さんにもお話をしましたが、とても優しく親しみやすい方でした。僕はあまり板金に関して詳しくなかったのですが、今回の見学で板金が災害時に役立つ事や現場の和やかな雰囲気を知ることができました。

池田圭佑